



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2812 URL https://www.yskf.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 潤
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝 利昭 (TEL) 054-202-6044
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,150	△6.3	300	△33.0	311	△34.9	176	△28.0
2020年3月期第2四半期	7,631	△1.1	448	31.4	477	34.6	244	9.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 453百万円(320.3%) 2020年3月期第2四半期 107百万円(△77.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	14.35	—
2020年3月期第2四半期	19.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	22,892	19,824	86.6
2020年3月期	22,295	19,533	87.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 19,824百万円 2020年3月期 19,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	△9.5	330	△59.9	350	△60.5	150	△52.6	12.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 一社（社名）、除外 一社（社名） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	13,056,198株	2020年3月期	13,056,198株
2021年3月期2Q	780,945株	2020年3月期	789,115株
2021年3月期2Q	12,269,775株	2020年3月期2Q	12,267,132株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 期末自己株数及び期中平均株式数（四半期累計）の算定上控除する自己株式には、監査等委員でない取締役（社外取締役を除く）への株式報酬制度のために設定した信託口が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、昨年判明した当社製品の一部における不正表示問題の影響や、新型コロナウイルス感染症の拡大など、事業環境が大きく変化していることから、2022年3月までの3ヵ年中期経営計画「Create Next YSK」の施策の一部を見直しました。見直した中期経営計画においては、「顧客に支持される食品メーカーへ」を新たな経営ビジョンとして、顧客の信頼回復と品質保証体制の抜本的見直しを重点的に取り組んでいきます。その詳細につきましては、2020年8月28日に公表した「中期経営計画「Create Next YSK」の一部見直しについて」をご参照ください。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動が制限されるなかで、経済活動のレベルを引き上げてきたことにより、持ち直しの動きがみられました。しかしながら、依然として本格的な経済活動の再開のめどは立っておらず、先行きは厳しい状況です。

食品業界では、消費を促す政策が実施されていますが、消費者の外出自粛意識は継続し、内食は底堅く推移しているものの、外食需要は依然として低迷しており、厳しい経営環境が続いています。

このような環境のなか、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減を目的として、従業員の健康管理の徹底、テレワークや分散勤務、時差出勤などの柔軟な勤務体制、オフィスレイアウトの見直しなどを行いながら、安全・安心な製品の安定供給という社会的役割に取り組んできました。

連結売上高につきましては、前連結会計年度における不正表示問題の影響や今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による販売活動の停滞等により、71億50百万円（前年同期比4億80百万円、6.3%減）となりました。利益面につきましては、売上高が減収となったほか売上構成の変化に伴い利益率が低下したことから、連結営業利益は3億円（同1億48百万円、33.0%減）となりました。また、連結経常利益は、3億11百万円（同1億66百万円、34.9%減）となったほか、不正表示に係る品質関連損失36百万円（前年同期比91百万円減）を特別損失に計上したことから親会社株主に帰属する四半期純利益は1億76百万円（同68百万円、28.0%減）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種香辛料の製造販売に関するセグメントです。前連結会計年度における不正表示の影響や新型コロナウイルス感染症拡大の影響による販売活動の停滞等により、液体調味料、粉体調味料、香辛料ともに売上が減少しました。その結果、調味料セグメントの売上高は、33億54百万円（前年同期比3億56百万円、9.6%減）となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費が減少したものの売上高の減少により3億8百万円（同1億12百万円、26.7%減）となりました。

(機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売に関するセグメントです。機能食品は市場環境の変化により主力商品の苦戦が続いており売上を伸ばすことが出来なかったものの、機能性食品素材は注力素材であるアンセリンで機能性表示食品の新規採用が進んだほか既存取引先商品の売上増により機能性食品素材の売上が増加しました。その結果、機能食品セグメントの売上高は、13億88百万円（同12百万円、0.9%減）となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの売上構成の変化に伴う利益率改善により、3億63百万円（同15百万円、4.4%増）となりました。

(水産物)

水産物は、冷凍鮪・冷凍鰹の原料販売及び加工製品の製造販売に関するセグメントです。OEM加工において高額商材の加工販売は堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症拡大による外食産業等における消費低迷や一時期の鮪原料相場下落による販売価格の見直し等の影響により売上が減少しました。その結果、水産物セグメントの売上高は、19億31百万円（同12百万円、0.7%減）となりました。セグメント損益は、経費の削減等に努めましたが、減収及び売上原価率上昇によりセグメント損失12百万円（前年同期はセグメント利益33百万円）となりました。

(その他)

その他は、化粧品通信販売及びその他商品の販売に関するセグメントです。化粧品通信販売及びその他商品の販売が共に伸び悩み、その他セグメントの売上高は、4億77百万円（同98百万円、17.1%減）となりました。セグメント利益は、売上高の減少により14百万円（同2百万円、16.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ5億97百万円増加し、228億92百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が1億19百万円、原材料及び貯蔵品が1億6百万円増加したこと等により3億23百万円増加し、149億41百万円となりました。

固定資産は、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が1億44百万円減少した一方、保有株式の時価の上昇により投資有価証券が4億円増加したこと等により2億73百万円増加し、79億50百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が1億28百万円、未払法人税等が68百万円増加したこと等により1億86百万円増加し、26億36百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が1億16百万円増加したこと等により1億19百万円増加し、4億36百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億76百万円となった一方、配当金の支払い1億72百万円により利益剰余金が4百万円増加したほか、その他有価証券評価差額金が2億76百万円増加したことにより2億91百万円増加し、198億24百万円となりました。

この結果、自己資本比率は86.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は66億26百万円となり、前連結会計年度末比1億13百万円増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、増加した資金は3億51百万円（前年同期比7億86百万円減）となりました。この内訳の主なものは、たな卸資産の増加額1億69百万円等の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益2億71百万円、減価償却費1億99百万円、仕入債務の増加額1億28百万円等の増加要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は64百万円（前年同期比1億5百万円増）となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出46百万円等の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は1億73百万円（前年同期比51百万円増）となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額1億72百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年10月30日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,098,849	9,218,110
受取手形及び売掛金	3,114,562	3,181,513
商品及び製品	809,465	900,210
仕掛品	109,457	82,043
原材料及び貯蔵品	1,428,437	1,534,982
その他	58,472	26,111
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	14,618,245	14,941,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,892,191	1,822,562
機械装置及び運搬具(純額)	786,554	715,136
土地	2,603,175	2,603,175
リース資産(純額)	2,652	1,459
その他(純額)	68,948	66,824
有形固定資産合計	5,353,523	5,209,158
無形固定資産		
投資その他の資産	81,718	80,174
投資有価証券	1,867,373	2,267,417
退職給付に係る資産	185,351	209,801
繰延税金資産	12,628	9,951
その他	180,709	178,284
貸倒引当金	△4,321	△4,321
投資その他の資産合計	2,241,740	2,661,133
固定資産合計	7,676,982	7,950,467
資産合計	22,295,227	22,892,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,044,501	1,173,291
短期借入金	700,000	700,000
リース債務	2,501	1,576
未払法人税等	54,351	123,081
未払消費税等	29,663	9,234
賞与引当金	130,857	165,084
役員賞与引当金	—	9,164
その他	487,839	455,192
流動負債合計	2,449,713	2,636,625
固定負債		
リース債務	363	—
繰延税金負債	263,106	380,013
退職給付に係る負債	21,391	28,702
役員株式給付引当金	27,306	22,730
固定負債合計	312,167	431,446
負債合計	2,761,881	3,068,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,422,547	3,422,547
利益剰余金	12,601,882	12,605,916
自己株式	△783,151	△773,102
株主資本合計	18,858,920	18,873,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	674,424	951,363
その他の包括利益累計額合計	674,424	951,363
純資産合計	19,533,345	19,824,367
負債純資産合計	22,295,227	22,892,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	7,631,439	7,150,832
売上原価	5,861,406	5,546,244
売上総利益	1,770,032	1,604,587
販売費及び一般管理費	1,321,268	1,303,827
営業利益	448,763	300,760
営業外収益		
受取利息	196	775
受取配当金	19,661	21,870
受取賃貸料	9,200	9,115
補助金収入	17,760	5,008
その他	9,636	15,353
営業外収益合計	56,453	52,122
営業外費用		
支払利息	1,112	1,030
損害賠償金	238	11,835
減価償却費	17,282	16,181
その他	8,951	12,746
営業外費用合計	27,585	41,794
経常利益	477,632	311,088
特別損失		
固定資産除却損	446	2,814
災害損失	—	31
品質関連損失	128,149	36,926
特別損失合計	128,596	39,771
税金等調整前四半期純利益	349,036	271,316
法人税等	104,396	95,169
四半期純利益	244,639	176,147
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,639	176,147

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	244,639	176,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136,835	276,938
その他の包括利益合計	△136,835	276,938
四半期包括利益	107,804	453,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,804	453,086
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	349,036	271,316
減価償却費	206,450	199,961
退職給付に係る資産及び負債の増減額 (△は減少)	△10,803	△17,140
賞与引当金の増減額 (△は減少)	50,145	34,227
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,058	9,164
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	6,826	△4,575
受取利息及び受取配当金	△19,857	△22,645
支払利息	1,112	1,030
為替差損益 (△は益)	1,021	123
有形固定資産除却損	446	2,814
品質関連損失	17,535	22,186
売上債権の増減額 (△は増加)	579,848	△66,951
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,883	△169,875
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	48,947	27,343
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	1,135	△175
仕入債務の増減額 (△は減少)	△52,612	128,790
未払消費税等の増減額 (△は減少)	14,287	△22,159
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	43,210	△9,194
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△2,850	—
その他	184	9,697
小計	1,225,239	393,936
利息及び配当金の受取額	19,895	22,681
利息の支払額	△1,081	△1,034
法人税等の支払額	△89,188	△30,176
法人税等の還付額	667	4,982
品質関連損失の支払額	△17,535	△39,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,137,997	351,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△408,000	△408,000
定期預金の払戻による収入	402,000	402,000
有形固定資産の取得による支出	△121,229	△46,344
有形固定資産の除却による支出	△681	△1,072
無形固定資産の取得による支出	△42,608	△11,619
投資有価証券の取得による支出	△1,786	△1,768
出資金売却による収入	2,583	2,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169,724	△64,383

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,000	—
自己株式の取得による支出	△54	—
配当金の支払額	△232,904	△172,372
リース債務の返済による支出	△1,690	△1,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,649	△173,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,021	△123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	742,601	113,261
現金及び現金同等物の期首残高	5,666,486	6,512,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,409,087	6,626,110

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

前連結会計年度において当社製品の一部における不正表示（以下「本事案」）が判明したことに伴い、本事案に関する費用について、可能な範囲において品質関連損失に計上しています。今後も本事案に関する費用が発生する可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることが困難なため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,711,192	1,401,013	1,943,952	7,056,158	575,280	7,631,439	—	7,631,439
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	7,701	7,701	—	7,701	△7,701	—
計	3,711,192	1,401,013	1,951,654	7,063,860	575,280	7,639,140	△7,701	7,631,439
セグメント利益	420,992	348,282	33,545	802,819	17,271	820,091	△371,327	448,763

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。
 2. セグメント利益の調整額△371,327千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,354,407	1,388,150	1,931,124	6,673,682	477,149	7,150,832	—	7,150,832
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	9,639	9,639	—	9,639	△9,639	—
計	3,354,407	1,388,150	1,940,763	6,683,322	477,149	7,160,471	△9,639	7,150,832
セグメント利益 又は損失(△)	308,400	363,771	△12,166	660,005	14,449	674,454	△373,694	300,760

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△373,694千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。